



# 南極の魚になるべからず

「南極の魚」と聞いて、何を思い浮かべるでしょうか。

大きい魚をイメージするでしょうか。

それとも小さい魚をイメージするでしょうか。

それとも、あんなに寒い所にそもそも魚はいないと想像するでしょうか。

実は、これはちゃんといます。

しかも、生態にある特徴があります。

南極の魚は、エサが少ないことなどから、海の底の方でじっとして動かず、上からオキアミなどのエサがすぐ近くに落ちてくるのをじっと待っているだけだといいます。

すぐ横の方にエサがあっても、そこへ行って食べようとする意欲もありません。

意欲を出さなくとも、じっとしていればエサが落ちてきて、それだけで生きていけるといいます。

たとえが良いか分かりませんが、私は、子どもたちを「南極の魚」のようにしてはならないと思っています。

大人でも（もちろん私を含めて）、すぐ楽な方に傾くクセがあります。

子どもたちも、放っておけばどんどん楽な方へと流されていきます。

だまってじっとしていれば、大人が何でもかんでも優しくていねいにかみくだいて教えてくれる。

考えなくてもよい。ただ勉強をしていればよい。

いわれた通りに行い、いわれたことを覚えればよい。

こういうことばかりに慣らされてしまうとこわいです。

いわゆる「指示待ち人間」を育てていく土壌であるともいえます。

そうではなく、子どもたち自身が新しい知を求めて自分から動きまわるような状態を作りたいと思っています。



# The Pirate Treasure Ship Living with Ocean

## お魚でえす！

### I. 魚の特徴

背骨や背骨に近いものを持っている

ヒレで泳ぐ

エラで呼吸する

3万種以上いる

- ①歴史は長い
- ②海が広く深いことで  
生きるための様々な環境がある

#1ミッションクリア！

答えは・・・ツバル

オセアニアに位置し、9の島からなる国。21世紀末までに沈んでしまうとも言われている・・・自分の住んでいる国が沈むなんて悲しい。

正解者：れんくん、ゆうせいくん、しのんさん、そうくん 答えてくれてありがとう

SOLAN4年生への  
ミッション！  
愛知県で一番取れる魚は何？



#### KT BOOK CLUB

『魚の教え 上巻』



魚のことを知ることができどんどん探求が進む！

#### KT FISH HOT SPOT

日間賀島！



海が透き通っていて魚がたくさんいたよね！

#### KT MISSION CLUE

愛知県庁HP

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/suisan/0000003831.html>

漁獲量を検索して、グラフを見るとわかります！

The Pirate Treasure Ship 編集長

谷口航成です。PTS第6号になり、大幅リニューアル！6号からは海と生きる人々とその生活をとりあげていきます。お楽しみに！MISSIONに取り組もう

参考文献 藤原勝子『魚の教え 上巻 食べて生きる』群羊社

谷口君が自主的に始めた新聞づくりは、今日でなんと7号を迎えました。

行動を起こす一步を踏むことも素晴らしいことですが、それを「継続できる」のはさらに素晴らしいことです。

昨日も書きましたが、人間は習慣の生き物です。

そして、「続ける力」という目に見えない力こそが、その習慣の中身や濃さを決定づけています。

さらに！

新学期の初日を迎えて驚いたことがたくさんありました。

昨日から百人一首の「ピンク札」を始めているわけですが、まだ教室では一試合も行っていなかったにも関わらず、すでに多くの子が札を覚えているのです。

中でも驚いたのは、多賀君です。

聞けば、この秋休みの間に自主的に練習していたとのこと。

他にも、朝の百人一首の練習のために何と電車通学を始めた子もいます。

そして、昨日からは「継続力」を鍛えるための一環として、チャレンジプリントを始めてみることにしました。

「わり算」を一通り習い終えたところですが、まだ「定着」や「習熟」まではあと一步という子たちも結構います。

習いたてなのですからそれは自然なことなのですが、それを「スラスラと」できるようにするには、やはり「続ける」ことが大切です。

その習熟を促すことと、継続力を磨いていく意味でのチャレンジプリントです。

もちろん、「強制」にはしませんでした。

「『続ける力を磨きたいなあ』と思っている人や「わり算をスラスラできるようにになりたい」という人におすすめです」

とだけ伝えて、あとは子供たちの選択と決断にゆだねてみることにしました。

すると、プリントを置いてあるところに大勢の子が殺到しました。

まるでバーゲンセールのような活況でした。

中には「先生、明日の分もほしいな」と言って何と初日から2日目の分まで持っていこうとする子もいたほどです。

わり算の内容を習熟することにも価値はありますが、やっぱりその上をいく価値があるのは、自ら動いたことです。

知を求めて、行動を起こしたことです。

こうやって得る学びほど、楽しいものではありません。

勉強とは、本来物凄く楽しいものです。

ワクワクすることです。

それが、やらされるようになり、強制感がでるようになり、義務感でやるようになるから、つまらなくなるのです。

以前、仕事でラオスに行った時のことです。

そこで出会った子どもたちは、「勉強がしたくてたまらない！」といった様子でした。

谷口くんや多賀くんやラオスの子どもたちに共通しているのは、「自分から魚を取りに行っていること」です。

待っていないのです。

待つとつまらなくなり、自ら動くと楽しくなる。

勉強の一つの原理だと思っています。

自分で考えて動くと、なんでも楽しくなります。

教室には、実はそうした自由がたくさんあります。

考えて見つけようと思えば、無限に発見できることでしょう。

☆↓読者ページはこちらから↓☆ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcjpcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

